

発言No. 1

受付No. 19

令和7年6月12日

10時42分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 4 番

氏名 三浦大紀

答弁を求める者

(○をつける)

☐市長 ☐教育長 ☐監査委員 ☐選挙管理委員会委員長

☐農業委員会会長 ☐固定資産評価審査委員会委員長 ☐公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1. 不登校児童・生徒支援の再構築について

不登校は「本人の問題」ではなく、学校・家庭・社会の関係性の中で起こるものである。「学ぶことを止めさせない仕組み」を地域全体でどう支えていくかが、これからの浜田市に問われている。

- ① 当事者（児童・生徒）および保護者、学校現場からのニーズや声を、市としてどのように把握しているか。
- ② 当該分野における ICT の活用（LINE 相談、オンライン保護者会など）はどのような状況か。
- ③ 支援体制の拡充について、民間団体との連携はどのように考えているか。

#### 2. 新市誕生 20 周年の節目に問う地域政策について

合併から 20 年が経過する中で、中心部と周辺部との間で機能格差や心理的な距離感が拡大していないかが問われている。“祝う”だけでなく、“振り返る”という姿勢も不可欠であり、真の一体感や「まちへの誇り」をどう育んでいくのが、これからの地域運営における重要な視点であると考えます。

- ① この間の地域への影響や住民意識の変化について、市としてどのように把握し、評価してきたか。

発言No.

2

受付No.

16

令和 7 年 6 月 12 日

( 0 時 22 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番

氏名 小川 稔 宏

答弁を求める者

(○をつける)

☒ 市長

☒ 教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 市独自で実施可能な物価高騰対策について

##### (1) 家計を助ける市独自の生活支援策について

- ①物価高騰の市民生活への影響と支援について伺う。
- ②水道料減免の支援策に対する認識を伺う。

#### 2 介護報酬改定に向けた早急な対応について

##### (1) 介護事業者の現状把握と国への要望について

- ①介護事業所の厳しい実情への認識と支援の考え方を伺う。
- ②介護報酬の早期改訂を求めることへの対応について伺う。

#### 3 浜田圏域の安心安全な医療体制の維持について

##### (1) 地域医療を守る中核病院の現状と課題について

- ①浜田医療センターの医師・看護師数の推移、診療科の休止状況などの充足状態と経営状態について伺う。
- ②病院経営の悪化や医師偏在の原因・背景と改善に向けた方向性について伺う。

#### 4 米軍機騒音問題に対する基本姿勢について

##### (1) 旭中学校防音工事を巡る費用負担の妥当性について

- ①国へ応分の負担を求める市としての方向性と手法について伺う。
- ②防音工事の国基準の制度変更を求める取組について伺う。

#### 5 生徒数減少の下での部活動・教育環境の維持について

##### (1) 地域移行も含めた中学校部活動の方向性について

- ①中学校の部活動の休部・廃部、合同チームの現状と部活動地域移行の検討状況について伺う。

##### (2) 児童・生徒数の減少と教育環境の維持について

- ①過去6年間の出生数の推移、生徒数の推計から見た小中学校の適正規模に対する考え方を伺う。

発言No.

3

受付No.

4

令和7年6月10日

14時22分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 19 番

氏名 田畑 敬二

答弁を求める者

(○をつける)

☒市長

☒教育長

監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 令和7年度地域井戸端会における意見について

##### (1) 市道及び県道の対応について

- ①市道における支障木の対応が遅れているとの声があったが、今後の対応状況について伺う。
- ②通学路に覆いかぶさる樹木もあるが、対応の考えについて伺う。
- ③市道のセンターライン・サイドラインが消えている所があるが、対応について伺う。
- ④県道の対応に係る県との連携の状況について伺う。

##### (2) 通学路にある落石防止の防護柵について

- ①防護柵等を含めての安全対策の取組状況について伺う。

##### (3) スクールバスについて

- ①小学生及び中学生の乗車基準について伺う。
- ②乗車基準を市内で統一する必要があると考えるが、市の見解について伺う。

#### 2 今後の支所の体制について

平成27年度から支所平均20人体制として、災害時に対応できる体制を整えられている。

- ①現行の支所の職員体制について伺う。
- ②人件費は、年間、合計59億円から67億円である。これは、定員管理計画に基づいて事務の改善、組織機構の見直しを実施した結果であるのか、その認識について伺う。

発言No.

4

受付No.

11

令和 7 年 6 月 12 日  
9 時 27 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番

氏名 沖田真治

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1. まちづくり総合交付金について

#### (1) 総合交付金制度の継続について

- ① 浜田市まちづくり総合交付金制度は、令和 7 年度で終了を迎えるが、現状の地域活動における総合交付金の必要性、近年のまちづくり推進委員会の設立状況などを踏まえると、打ち切りは現実的ではないと考える。現在の検証委員会での議論を踏まえ、今後の制度の継続性と見通しについての見解を伺う。

#### (2) 制度の効果について

- ① 制度開始以来、地域における主体的な課題解決や活動等が定着してきているように思える。市としてこれまでに得た成果をどのように捉え、長年に及んだ事業をどのように評価しているのか伺う。

#### (3) 制度の課題について

- ① 制度上の事務手続が煩雑であることから、旧那賀郡のまちづくり推進委員会においては、まちづくりセンター職員が事務作業を担っているが、旧市内においてはまちづくりセンターが担える体制が整っていないことが課題であると思う。市としての認識を伺う。
- ② 地域課題解決に向けた提案や組織活動、運営が一部の住民に偏りがちになっている状況をどのように認識しているのか伺う。
- ③ 課題解決特別事業の応募件数が毎年、少ないことについての認識を伺う。

#### (4) 今後の制度設計について

- ① 制度開始から20年以上が経過し、制度開始当初は地域を支えてきた世代の高齢化により、後継者不足が各地域における解決すべき喫緊の課題である。制度を継続していくうえで人材育成や次世代の参画についての仕組みづくりを、どのように考えているのか伺う。
- ② 地域のニーズが、イベント開催から環境整備、生活インフラの維持と言った、生活に身近な課題解決へと変化してきている。特に高齢化が進む中山間地域で高まっている生活インフラの維持に対し、現行の制度では算定基準や用途における制限がネックになっている場合も見受けられることから、地域の実情に応じた制度設計が必要ではないかと思うが、市としての認識を伺う。
- ③ 現行の制度では、まちづくり推進委員会など地域単位の組織でなければ申請できないことが、住民の自由な挑戦の妨げになっていると考える。申請主体を地縁組織から目的を持った団体も加えることも必要であるとする。市としての考えを伺う。

発言No.

5

受付No.

6

令和7年 6 月 11 日

10時 21分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名 牛尾昭

答弁を求めるもの

(○をつける)

(市長) 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1、市民に伴走する取組について

#### (1) 西条柿生産農家への支援策について

今回の地域井戸端会では、

- ①特に、東平原の生産農家から、年度初めに補助金制度の相談に伺ったが、すでに上限に達したとの対応だったことについての原因を問う。
- ②多くの生産農家が望んでいる安定感のある三脚、脚立の購入が補助金の対象外となっているが、どうにかならないかとの問いがあったことへの対策について問う。

#### (2) 鳥獣害対策について

- ①ハクビシンやイノシシ対策の支援強化策について問う。
- ②シカが、電柵を飛び越えて作物を荒らし困っていることへの対策について問う。

#### (3) 子育て中のお母さん方の要望について

- ①子育て世代包括支援センター「すくすく」の施設内で、もう少し自由に飲食が出来ないかという指摘に対する対応について問う。
- ②すくすくでの地域井戸端会には、多くのお母さん方が参加されていて、短時間勤務する職場がないとの相談があった。例えば、市役所で子育て枠を設けて、パートタイム勤務や在宅勤務などで、働くお母さん方の支援ができないか問う。
- ③もう一人こどもが欲しいのに、無痛分娩が出来ないことへの対策はないのかを問う。

#### (4) まちづくり総合交付金制度について

今福地区の問題であるが、高齢者の方々が熱心にサツマイモを栽培されているが、茎を切る機械がなく作業がはかどらず、機械購入を考えた場合、課題解決特別事業費を少しオーバーし、お困りのようである。これこそ、高齢者の健康増進や生きがいに必要な施策であると考え、柔軟な対応が出来ないか問う。

(5) 小規模農家からの要望に対する担い手確保・経営強化支援事業について

①小規模農家対策として、機械購入支援策が設けられた。担当職員にお願いしてチラシを作ってもらい、まちづくりセンターや個別配布、地域井戸端会で告知した。反応は、評価する意見、少額すぎるとの意見など様々であった。現状の申込状況を問う。

## 2、地域資源を活用した地域経営について

(1) 水産加工団地や瀬戸ヶ島埋立地の活用について

瀬戸ヶ島埋立地は、長らく野ざらしのまま、水産加工団地には、空き地が点在している。これらは、水産業振興・水産加工業振興のための地域資源であるが、十分に活かされていない。先ごろ、団地には(株)三陽の進出が決まり、さらには操業の前倒しや投資額も増額の予定である。一方で、瀬戸ヶ島では、サーモンの陸上養殖の調査のため、プロキシマー(株)と市が協定を結ばれたことについて、以下7点伺う。

- ①新設の漁港活性化担当係の使命を問う。
- ②(株)三陽進出後の見通しについて伺う。
- ③地元企業との関係について伺う。
- ④(株)三陽への市の支援策について問う。
- ⑤プロキシマー(株)進出に当たっての課題について伺う。
- ⑥企業の意向について伺う。
- ⑦プロキシマー(株)への市の支援策を問う。